

論文審査の結果の要旨

| | | | |
|---|----------------|-----|-------|
| 報告番号 | 博(医歯薬)甲第 831 号 | 氏名 | 原口 愛 |
| 学位審査委員 | | 主 査 | 前田 隆浩 |
| | | 副 査 | 上谷 雅孝 |
| | | 副 査 | 柳原 克紀 |
| 論文審査の結果の要旨 | | | |
| <p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、FDG-PET（フルオロデオキシグルコース-ポジトロン断層法）が血管炎症の検知に有用であることを活用し、胸部大動脈における FDG 集積と動脈硬化に関連する臨床的、生化学的所見との関連を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> | | | |
| <p>2 研究手法に関する評価</p> <p>西諫早病院の FDG-PET/CT 検診受診者のうち基準を満たした 211 人を対象として、問診、身体測定、生化学的検査、臍レベルの内臓脂肪面積の測定を行った。FDG 集積の評価については、上行大動脈、上大静脈で測定した standardized uptake value (SUV) をもとに、target-to-background ratio (TBR) を算出し、動脈硬化に関する臨床的、生化学的所見との関連について統計学的解析を行っており、研究手法も妥当である。</p> | | | |
| <p>3 解析・考察の評価</p> <p>年齢と性別を含む各種交絡因子で補正して解析した結果、胸部大動脈の TBR は有意に LDL-C、レプチンと関連しており、大動脈の FDG 集積が、一般住民においても動脈硬化のマーカーとなる可能性が示唆された。</p> | | | |
| <p>以上のように本論文は、動脈硬化の早期診断に関する研究に貢献するところが大きく、審査員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p> | | | |